

令和7年2月28日

長泉町議会議長 下山 和則 様

会 派 名 無所属

会派代表者名 福田 明 

会派調査研究・研修報告書

このことについて、下記のとおり会派調査研究・研修を実施したので、報告いたします。

記

調査研究・ 研修者氏名	福田 明
調査研究・ 研修月日	令和7年2月5日(水)～ 令和7年2月6日(木)
調査研究・研修地 及び事項	(1)目的地(大阪府柏原市) 日 時 令和7年2月5日 午後1時30分～3時00分 内 容 柏原市庁舎施設整備事業について
	(2)目的地(滋賀県守山市) 日 時 令和7年2月6日 午前10時00分～11時30分 内 容 守山市図書館の建設、運営について
	(3)目的地() 日 時 令和 年 月 日 午前 時 分～ 時 分 内 容
調査研究・研修地 内容等	別紙のとおり (1) 内容 (2) 町行政との相違・留意点と、研修成果による提言 (3) 添付資料



研修内容： 柏原市庁舎施設整備事業について

日時：令和7年2月5日（水） 午後1時30分～3時00分

出席者

柏原市総務課 次長 大橋氏

同 主事 辻野氏

柏原市議会議員 田中秀昭氏

長泉町議会議員

福田 明、杉山夏男、米山 智、長野晋治

（1）内容

柏原市は、大阪府の中河内地域に位置する市。1958年市制施行。ぶどう栽培が盛ん。また古墳や遺跡も多く、市内にある横穴墓は大阪府内では、現在柏原市でしか発見されていない。2006年11月、構造改革特区に認定された。大阪都心部から約20キロメートルほどの距離に位置する大阪府のベッドタウン。市全体の2/3が山間部である。また、中央部には一級河川である大和川が流れている。市役所の近くで石川と合流する。人口68775人

庁舎は昭和44年に建設され、コンクリートの剥離や漏水の発生など、建物や設備の老朽化が進んだ。耐震性能も不足し防災拠点機能を兼ね備えた新庁舎が喫緊の課題となった。平成30年に「柏原市庁舎建設基本構想・基本計画」を策定した。

基本設計のコンセプトは防災のシンボル「大和川」沿いの新庁舎にふさわしい「防災庁舎」、交流を促進し地域を活性化する「親水庁舎」である。その内容は、

- ① 市民の安全・安心を守る「防災庁舎」—大和川の治水事業の歴史を踏まえ、安心と安全性を追求した計画を行い防災拠点施設のモデルとなる庁舎づくり。
- ② 主要なまちをつなぐ「賑わいを生む庁舎」—北のJR柏原駅と南の近鉄河内国分駅は、市の基幹駅となっており、駅周辺は賑わいのある「まち」が形成されている。
- ③ 大和川沿いに交流環境を形成する「親水庁舎」—まちのシンボルである大和川と調和した景観の形成、河川敷と庁舎の市民利用エリア、かしわらテラスの連携を図る。である。

ア 庁舎建設の建設プロジェクトにおける発注方式について

平成8年阪神淡路大震災があった。この頃からリース方式の検討が始まり、平成28年に熊本地震があり、平成29年に国の緊急保全事業が始まった。平成30年から3年間検討して結局、DB（設計施工一括発注方式）に決まった。

イ 庁舎整備に係る財源

・地方債は、公共施設等適正管理推進事業38億円、一般事業（石綿）2億8千万円などで、計42億円、期間は25年である。

・基金や特定財源、一般財源が約6億円になる。

ウ 書かない窓口（申請書支援システム）

マイナンバーカード又は運転免許証を持参し簡単なタッチパネル操作とカード情報を読み取ることで、氏名、住所等が記入された申請書類が作成される。

（2）町行政との相違点・留意点、研修成果による町行政への提言

申請支援システムは、地域の行政サービスを効率的で利便性の高い窓口業務のデジタル化を進めるため、マイナンバーカード等を活用して、来庁者の申請書類への記入負担の軽減を図り、窓口混雑の緩和が期待できる。本町でも導入できるシステムである。

（3）添付資料

- ・ なし

研修内容： 守山市図書館の建設、運営について

日時：令和7年2月6日（金） 午後10時00分～11時30分

出席者

守山市図書館 副館長 西村克子氏

守山市議会事務局総務課 課長 西村和弘氏

長泉町議会議員

福田 明、杉山夏男、米山 智、長野晋治

（1）内容

滋賀県守山市は、琵琶湖の南東部を形成する湖南平野の中央部に位置する、面積55.73㎢、人口85,731人で、市政施行が昭和45年7月1日であり、平成7年からは毎年人口増加している市である。

守山市は「読書が好き」という人であふれ、読書を通じて豊かな生活、人生をおくり、広く深く読書に関わることができる「読書日本一のまちづくり」を目指している。守山市図書館は本の森をイメージした木質空間で「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」として市民に広く活用されている。防音スタジオやカフェも併設され、館外には目田川に沿った遊歩道もあり、いろいろな楽しみ方ができる。また、守山市立北部図書館もある。

① 運営状況

来館者数 本館 454,380人 月平均約 37865人（前年度比 103%）

北部 34,670人 月平均約 6934人

貸出冊数 本館 1037889冊 1日平均 3655冊（前年度比 101%）

北部 36,149人 1日平均 329冊

読書通帳の配布 1039冊

市民一人当たりの年間貸出冊数 12.5冊

蔵書冊数 430101冊

図書館改築工事費用 25億円、 設計者 隈研吾氏

② 図書館サポート隊の導入と具体的な活動内容

新図書館開館時に導入

令和6年3月31日現在

サポート隊活動登録者 個人 144人、団体 40団体

活動内容

ア 演奏会、展示会、写真展、紙芝居、おはなし会、後援会など239回

イ 本おなおい隊、としょかんかざり隊

ウ 対面朗読（視覚障害者に対して）

エ 図書館主催行事等の補助

オ 中高生サポーター

月1回、本のPOP作成、クイズラリー、本の闇鍋（表紙を隠してイメージを書く）などの企画・実施

③ 中高生の職場体験の受け入れ

④ 学校図書館との連携

⑤ 医療機関（がんセンター）との連携、などの取り組みがある。

（2）町行政との相違点・留意点、研修成果による町行政への提言

図書館サポート隊の導入で町民とのつながりが増え、本に対する活動が活発化する。自ら企画したり発表を行う町民、若い世代の利用者が増加すると思われる。

（3）添付資料

・ なし